HL7入門

藤田保健衛生大学 医学部 放射線医学教室 藤田保健衛生大学病院 医療情報部 江本 豊

日本HL7協会技術委員長 浜松医科大学医療情報部 木村通男 教授のスライドを基に作成





なぜ情報交換標準規格は必要か

- - NO!
 - △それぞれの分野で得意なメーカを選びたい
- ##それぞれのサブシステム導入、更新時期はまちまち
 - △そのたびに結合のためのソフト開発が必要?.

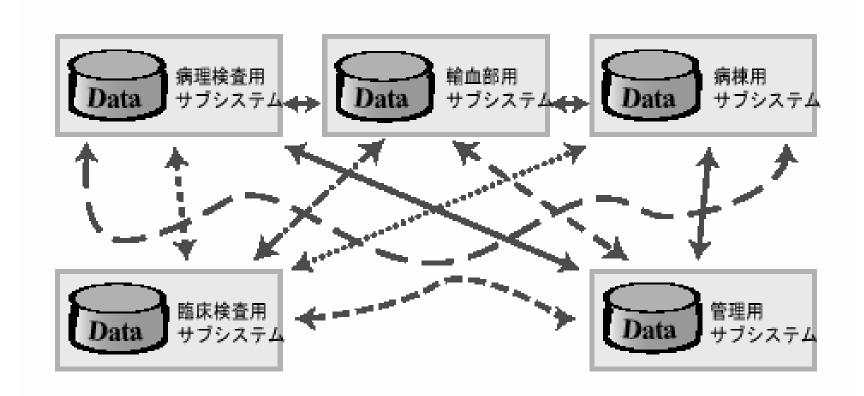




- #厚生労働省グランドデザインに、用いるべき規格として、DICOMとともに明記
- ※厚生労働省標準的電子カルテ普及委員会最終報告で、HL7 v2.5, CDA R2が推奨
- - △IHE-Jコネクタソンもこれをベースに実施
- ∺普及状況
 - △浜松医大は9年分、他にも主として3年前の地域連携事業の主体施設では対応済み
 - △SRL, BMLなどの検査会社は対応済み
- #既にv2.5はISO.

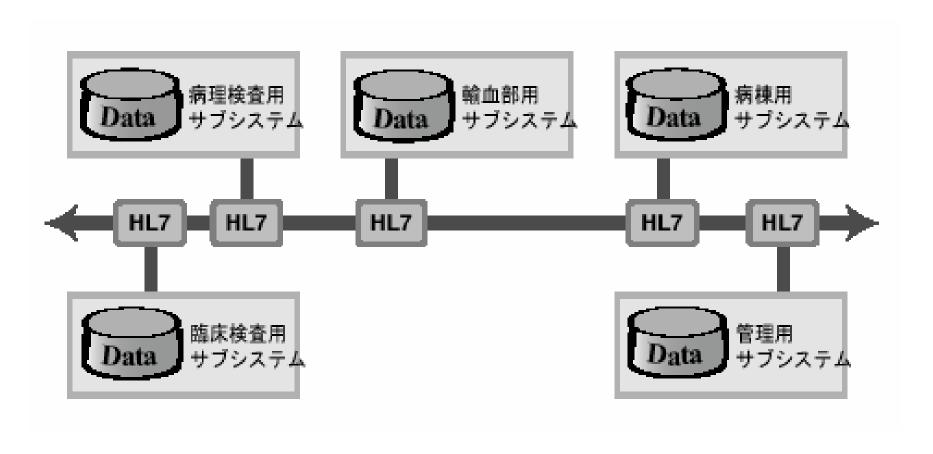
n(n-1) ベンダーの組み合わせ数







一つの規格で結合







- ★医療情報のサブシステム間で、情報交換のための標準化フォーマットを提供

- ∺情報交換効率の向上
- ₩限界:
 - △ローカルに決めることはOにはならない

 図コード、pop-push、、、。





- ★1987年に発足
- ₩29国際支部、会員2200人
- 無毎年3回Working Group Meeting
- ₩ANSI公認SDO(規格制定団体)
- ₩V2.5がISOに
- 光アメリカでの電子カルテ加算のための基準作り依頼

HL7の名前



#Health Level 7

光エンコード方式

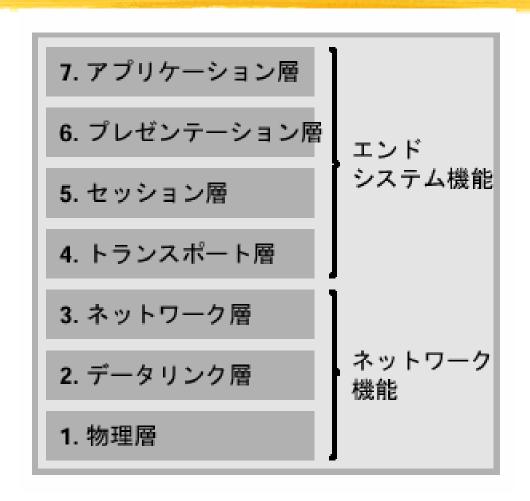
#FTP

#IP

#TCP

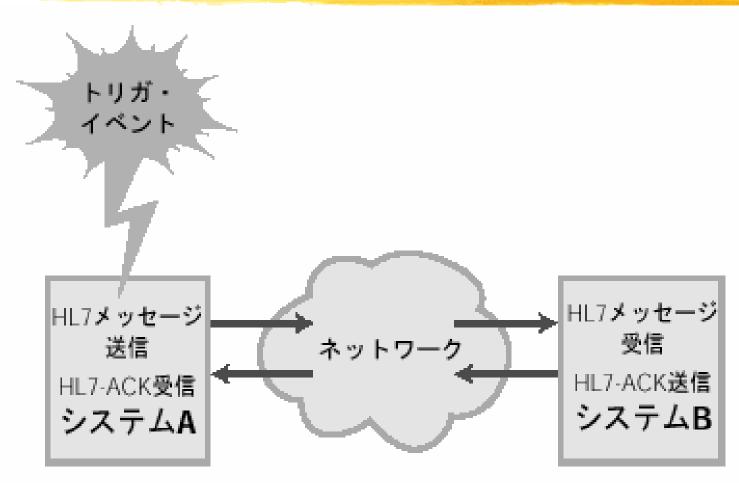
MTA

光光ファイバ



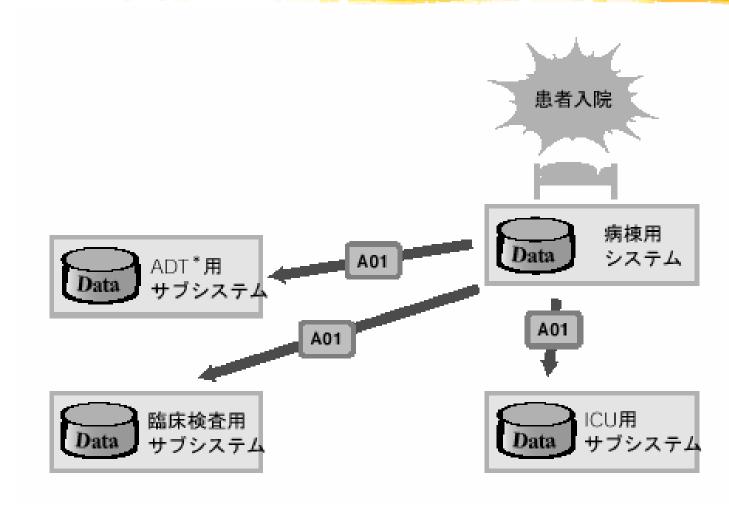
HL7の情報伝送コンセプト: トリガイベント毎にメッセージ





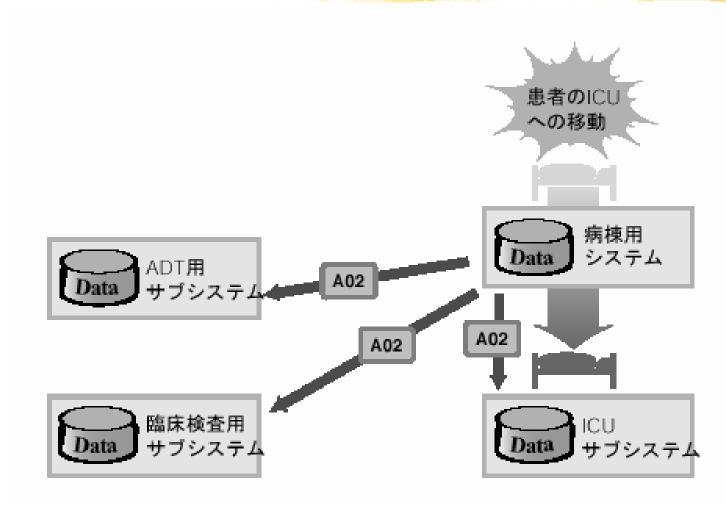














多彩な用途に対応するメッセージ

#ADT

△初診受付、入退院、転棟といった患者基本情報

光オーダ

△処方、検体検査、画像検査、物品、給食、、

∺結果報告

△検体検査、画像検査、、

☆各種予約、看護、治験、介護、財務管理、マスターファイル管理、カルテ管理、カルテ管理、カルテ内容、、

メッセージはセグメントからなる セグメントはフィールドからなる



#ADTメッセージ

- △MSHセグメント: メッセージID、日時など
- △PIDセグメント:患者名、生年月日など
- △PV1セグメント:この受診の日時、受診先など
- #ORMメッセージ(検査オーダ)
 - △MSHセグメント
 - △PIDセグメント
 - ○OBRセグメント: 詳細検査項目など.

HL7メッセージ例 (検体検査結果報告)





日本HL7協会の新規活動

- - △静岡県版電子カルテの接続条件
- #CDA文書の規格制定
 - △紹介状、患者情報CD提供
 - 図紹介状はCDA R2、検査結果、処方はv2.5







Mont Blanc, Aiguille du Midi